

公民館だより

ひがしの

№. 25 号

61.4.10

発行 東野公民館



「東野県営ほ場整備 第三ブロック完成する」

昨年九月末に着工された東野地区のほ場整備（第三工区）が去る三月末日（面積約8.9ha）完成しました。総事業費約七千四百万円ですので、1ha当り約八十三万円となりますがその八割は国県市の補助金でまかなわれます。残りの二割を地元、受益者負担となりますが、他地域のほ場整備と同様、一時的に農林漁業資金を借入して（五年据えおき十五年償還）ゆく方式となります。

六十一年度は宮の前6ha、小の川の約11haが、施行されるとのことです。働きよい住みよい環境づくりのため、各位のご協力をお願いしたいとのことでした。

● とうとう春さよならが近づいてくる。

● 春の足音が近づいてくる。

東野の生涯教育

親の願い、子の願い

東野小学校長

鵜飼敬三

Ⅰ はえは立て、立てば歩めの親心
わが子に期待や願いを持たれない親さんはおられないでしょう。

わが子の現状やこれまでの成長過程などをつぶさに見つめつつ、真の実りを目指して育てていられっしやると思います。しかし、わが子を最高にかわいがったつもりでおられても、結果的には干渉が過ぎて意気地のない子、偏見の強い自己主張や、友だちと遊べない子等々、人間としてあまり好ましくない面を作ってしまう。そう育てたのは他人でなく実は親その人であったというような例は決して少なくないのです。親さんが子どもにいろいろな願いをもたれることは、現状の理解と共に、知性を働かせて推測した未来の姿においての理解が大事ではないでしょうか。

Ⅱ こんな子どもになつてほしい
① 健康で友だちと遊べる子どもにしたい。

子どもはよく遊ぶからよく眠ります。よく眠るからすっきりした頭で意欲的に学ぶことができます。意欲すなわち自発がないところに充実した学習もなく、また心身の健康もありえません。子どもは遊びの中で、協力、秩序、奉仕、忍耐等々社会生活の原型を学んでいるのです。

② 常に感謝の気持ちをもち、思いやりの深い子どもにしたい。
美しい感情とは思ひやりの深さと言ってもいいのではないのでしょうか。その思いやりは感謝の気持ちから生まれると考えます。父母のお陰、あなたのお陰で今日がある。だからこそあなたと共にがんばる気持ちが生まれるのです。結びつく力の強さを、みがき合う質の高さを、そして助けあう心の豊かさを、生活のいろいろな場面で経験してほしいと願うのです。

③ 自己評価ができ、判断を誤らない子にしたい。
言葉と心と行動が一体化する子に育てたい。口先だけでなく実践力のある人になつてほしい。自己の言動に責任をもてない人は、良心の腐敗を意味するとも言えるのではないのでしょうか。適時・的確な判断をくだせるということは、日頃の精進にあることを悟らせていきたいものです。

Ⅲ 子どもは親にこんなことを願っている
発達段階や性別、家族構成や家庭環境などによっても異なりますが、子どもの願いの多くは、年齢が低いほど自己中心的で極めて主観的なものですが、成長するに従って徐々に他の関係を理解し、ある程度客観的にみつめることができるようになります。

Ⅰ 低学年の例
● いっしょに遊んでもらいたい。

● お小遣いがたくさんほしい。
● すぐ寝ると言わないで。
● どこかへ連れて行ってもらいたい。
● 好きな物を買ってほしい。
● 怒らないで勉強を教えて。

Ⅰ 高学年の例

● 勉強、勉強と言わないで。
● しかるるとき手を出さないで。
● 元気で長生きしてください。
● 酒やタバコをやめて。
● ひいきしないで(兄弟げんか)。
● 押しつけないで

Ⅳ 改めて親の責任を自覚する
子どもは、日々の生活から、誠実さ、仕事への厳しさを、夫婦の協力など人としての基礎的基本的なことを学んでいます。家庭の大人らの中には、じっと耐えたり、時には厳しい叱責を経験したりして、独立心と人の生き方を学んでいます。親の願いの願いを通して、ここに改めて親の役割や家庭の在り方を自ら考えなおしていただきたい。そして成長する子どもに対応して、親も共に学び、いっそう信頼と敬愛の念が深まるよう努めていきたいと考えます。

以上

生きとし生けるもの

伊藤京さんを偲ぶ

鈴木抱風子記

「お暑う御座います。御無沙汰のみ申訳ありません。

本を戴き有難う御座いました。早速よませていただきました。

私、字は忘れてかけませんし、又真直に書けませんので、人様に読んでもらえる様な字は書けませんが、先生に本をいただきましたうれしくて、よみにくいですが、一寸書かせていただきます。私の事はかりで申訳ありません。

本の事は本として、これから何回もよませていただきます。此の間歳時記を一寸開けて見様としましたが、ちょっと引けませんでした。もうあかんと思いました。私はこんなものです。其の昔、やすゑさんと夜先生の所へ行って習ったものです。嵐の夜道の電灯の処に蛾がたくさん集って飛んでゐ

た事など、又、柿をたくさん取って下さり、私が下でカゴに入れて持つて帰り、やすゑさんに半分わけてあげたり、中庭のボボだったかを取って下さり、毎日たべてよろこんだことなど思ひうかびます。又夢に見た先生の家の前がひろいひろい庭で、大勢の人が先生をしたって、先生に挨拶なさるので、私も行き度いと思っても、どうしても行けないので、まわり道をして裏の方から行ったけど、先生はもうみえなかったなど、夢はいつも先生の家の前の庭のへんの石とか、あじさいとかです。其の頃がとてもなつかしい毎日でした。もう字も書けなくなり、句など出来ません。でも皆さんの事などやすゑさんが話して下さりなつかしく聞かしていただいております。

皆さんの句も本当に上手に見せていただきました。なつかしい夢のあとです。私の部屋の先生の色紙などねむれぬ夜あかずながめています。

街埃あびて夢し帰り花

(昭和五十三年)

夏草に負けじと鎌をときにけり

ほんとうにありがとう御座いました。先は御免なさい。京

これは昨春秋、他界されたオ京さんの御手紙の全文です。

「私は俳句講座を引き受けた時、俳句は勿論指導するが、何人かに『俳句する心』を育成指導してみようと考えて、句集はなしやま第一号のはしがきに、こんな覚悟を述べている。

『俳句する心』とは、人間としての生き方の自覚、即ち信念に貫かれた生き方が尊いとその時説いた。オ京さんの手紙を読むと、この『俳句する心』を、かなりの処まで、掴まへられたことを感ずる。オ京さんは健康上俳句を途中で止められたけれども、『俳句する心』は脈々と流れていたのである。

オ京さんは俳句は真実であるということを、作句していて知らず知らずに体得していた。これが日常生活の基調になっていたことは、手紙の中の歳時期のくだりや夢物語、柿、ボボの素朴な叙述の中に現われている。

短い期間ではあったが、師弟の間柄を私は誇りとしています。

謹んで御冥福を祈る次第である。

・追悼・

愛惜に散ると垂示や蔓珠沙華

—抱風子—



小学主の職工大会

社会教育活動

郷土書道展を行いました

うすれゆく郷土意識を深めたいと小中学生を対象として「ふるさと」とか「山本用水」とかを課題として小学生百五十人、中学生八十人の皆さんと学校のご協力によって「小・中学生郷土書道展」を開くことができました。

公民館ロビーに一月二十日から約一ヶ月展示し多くの方々に見て



いただきました。

東野の書道レベルの高さを、審査された専門の書道家も高く賛されており、第二回第三回と年一度は開催したいと、主催した青少年育成会議の評価でしたので、何分のご協力をお願いいたします。

教育長賞に

千藤さん

(恵那情報社) 記

恵那市東野公民館で、小、中学生の「郷土書道展」が二十日から開かれ話題を呼んでいる。

ふるさとへの気持ちを深めようと東野青少年育成町民会議(西尾茂芳会長)が「郷土」「家庭」をテーマに催した初の書道大会。地域の小、中学生二百二十人が参加。田立松鶴、大野恵石さんの審査で教育長賞に千藤美香子さん(中学三年)が決まったが、いずれも心

をこめて書いた作品揃い。会場を訪れる人たちの目を楽しませている。二月二十一日まで展示。なお二十五日に入賞者の表彰式を行う。他の特別賞、入選者はつぎのみなさん。

▽特別賞Ⅱ丸山孝之(中二) 飯田里恵(中一) 夏目三義(小六) 北村嘉康(小五) 北村寿徳(中三) 田口香(小六) 三宅磨貴(中一) 森昌子(同) 岡本真吉(小六) 伊藤歌枝子(中二) 渡辺正直(中一) 岡本綾乃(小三) 長谷川梢(同) 丸山美加(同) 千藤浩素(小二) 小泉ちえ(小三) 長谷川靖(中二) 工藤憲子(小四) 渡辺修(小五) 伊藤千代美(小四) 猪野幸恵(小二) 篠原増美(中三) 藤田美貴(小一) 中島美由紀(小四) 光岡由美(小一) 古山貴美子(小五) 市川美喜子(同) 入選Ⅱ光岡真由、小林正直、千藤ちえみ(小一) 長谷川早苗、中島義主(小二) 小林美里、市川美夏、筒井穂斗(小三) 鈴木千恵里、渡辺寛子、伊藤宏明(小四) 藤田いづみ、市川裕美、丸山多美子(小五) 土方きみよ、西尾政博、加藤お里(小六) 依馬昌子、水野絵里子、渡辺美貴(中一) 藤田定省、伊藤栄、村山正子(中二) 丸山久美、西尾美穂、千藤弥生(中三)

小学生わら細工大会



小学生の皆さん方と老人クラブ役員のご協力により東野小体育館で、子供会育成会(足立知胤会長)の主催にて開かれ、幼ない子供達が一生涯命なれない手つきで縄をなったり、ぞうり作りに挑戦したりして半日を過ごしました。中々反省としては、指導される老人クラブの方々が少なかったので大変混雑したことです。次回からは老人クラブ会員の絶大なご協力が欲しいものです。

新春マラソンと餅つき大会

一月十五日慣例となりましたマラソンと餅つき大会が行われました。

寒冷の季節でしたが、丁度良い天候に恵まれ体育協会のご指導と子供会役員のご協力で、盛大に実施されました。

マラソンは父親と五才ぐらいのボクまでが完走して、皆さんに大きな拍手を浴びつつゴールされる



など和気あいあいの新春。

餅つきの方は、人特に若いお母さん

方の方の参加手助けにより、公民館

調理室で蒸されたモチ米がウスに

入れられ(約一斗)五ヶ所でキネ

の音高くつき合われました。

喜んだのは大人も子供も一緒、

試食も一緒でした。

終始参加されました校長先生、

教頭先生、御苦労様でした。

教育講演会が 開催されました

去る二月四日夜、東野においで始めて本格的な教育講演会が開かれました。

講師は長野県篠井高校の若林繁太先生で、



登校拒否、いじめなどの問題をテーマとして子育ての実践論を約二時間にわたって熱く講演されました。

来賓の聴講者は約三百人余りで公民館大会議室は超満員でしたが、地域の方は約その半数でした。主催した東野青少年育成会議では呼びかけのいたらなかったことを反省してみました。



花無山句会

風通す軒端の深し釣葱
主なく茂る庭木に梅擬

朴落葉中の一枚拾ひけり
釣葱軒に山小屋柚棲める

斑雪まわりに置きて山葵沢
蜘蛛の糸枯葉捕えて舞ひて居り

舟も櫓も朽ちてそのまゝ猫柳
真鯛と但し書きあり今朝の市

朝顔の登るも這ふも咲き続く
多度津来て楳の紅葉農かりけり

丸山 瑞月
伊藤 公の直
長谷川 梧葉
市川 茶山
西尾 筍子

モロコシの匂いもありて夏祭
耳すます西瓜たたいて初収穫
とろろ汁大挿鉢ごと冬座敷
炭二俵丸太の宿の土間にあり

身をそらし火箸の先の燐り炭
殖えもせで梅鉢草の一、二輪

念入りに南瓜とろりと冬至かな
実年の新語も入れて初日記

身をしめて大鯖焼へ油たる
抜きん出し青首競う大根かな

春の雪糲殻着けて雀翔つ
白壁の塀に触れあふ秋桜

青空に稼働の煙日脚伸ぶ
ふとん干取り入れ時の陽の匂い

千藤 恵三
市川 芳子
松本 春美
伊藤 道子
加藤 裕子
西尾 美恵子
潤口 清子

動くものなき朝焼の霧水林
踏む落葉靴にささやく旧街道

冴ゆる月米寿の母や呼応なく
門川に添いて紅葉の遅速あり

十六夜のうすく濃く雲すぎゆけり
萩寺のみごとに咲きし萩の花

孫の歯が生えたと知らせ春炬燵
冬晴や紅葉濃淡引立てて

白壁を背に干柿を吊しけり
素晴しい毬すばらしい栗を抱く

鈴木 抱風子



東野の自治組織

国県に対して「地方自治」とい
いますが、市町村それぞれの自治
を表現する代名詞ともなっており

ます。
その機構の中でもっとも重要で
かつ大切なのが「地域自治」であ

ります。今年も東野における自治
組織（奉仕）の団体各役員が決ま
りました。
この一年間御苦勞様ですが、地
域活動のためどうぞよろしくお願
い致します。

向島
市長 西尾 茂芳
副会長 伊藤 茂和
足立 昌義
市川 正男

昭和六十一年度
■東野自治連合会役員の方々

副分団長	分団長	東野消防団(第三分団) 新役員名簿(部長以上)	東雲	白坂	北中切	南中切	下辻	中辻	小の川	下浜井場	上浜井場	北万場	南万場	井の下	下染戸	上染戸	南大門	下大門	上大門	宮の前	小麥田	北天王前	南天王前	中島	下沢
堀江直明	光岡克昌		山本昭	足立貞雄	渡辺昌良	渡辺修	三宅鉦造	伊藤武彦	光岡伸康	遠藤茂樹	三浦忠信	曾我昭博	西尾敏彰	伊藤藤美	千藤原亨	篠原更生	小本曾亨	桐山光生	西尾和年	河村久夫	千藤健逸	渡辺昭一	千藤恵三	西尾恒明	千藤恒明

副分団長	鈴木幸盛
部長(本部長)	藤井達郎
“(訓練)”	藤田政直
“(機械)”	千藤久明
“(防災警防)”	藤田典義
〔第一小隊長〕	〃
部長(操法)	西尾正道
“(操法)”	渡辺浩二
“(予防)”	古山敦啓
〔第二小隊長〕	〃
部長(救助救急)	伊藤年明
昭和六十一年度	
■東野小学校PTA役員	
会長	伊藤善尚
副会長	光岡雅之
〃	足立澄子
書記	伊藤順恵
會計	丸山文憲
幼稚園	三宅敏行
厚生部委員長	渡辺忠明
教養部委員長	千藤一二三
■東野婦人会役員	
会長	西尾美重子
副会長	小坂節子
〃	土方むつみ
書記	小栗滋子



書記	會計	〃	■子供会育成会役員														〃	
西尾芳	西尾よし子	千藤千鶴子	伊藤善尚	小栗敏彦	長谷川良治	丸山文憲	赤尾契夫	渡辺幸典	土方浩充	伊藤正信	伊藤正司	伊藤宏	市川正和	足立智胤	伊藤久夫	河村克己	長谷川三千郎	藤田重明

◆四月十三日(日)

午後十二時三〇分より愛林
祭(公民館前)、同一時より
春の戦没者慰霊祭(慰霊碑前)
です。

◆四月二十日(日)

午前八時より春の井浚実施、
午後からは保古用水関係、各
自治会内の環境を整備しまし
よう。

◆四月二十五日(三十日)

第二十八回公民館教養講座
の募集です。新しく料理講座
を復活しました。(裏面参照)

◆五月十八日(日)

市長、市議会議員(補選)
の告示、投票日は同二十五日
です。

◆その他

新しい園児、新一年生、新
中学生等学校、友達に慣れる
よう、体調などより注意して
下さい。

廃品拋出の お礼について

東野自治連合会長
西 尾 茂 芳

東中学校の備品充実のため、去る三月二十八日実施いたしました廃品拋出につきましては、四トトラックに五車という多量な廃品を拋出していただき誠にありがとうございました。

夕方五時から、折悪しく降る雨の中を、二十四名の自治会長さんとPTAの役員さんのご協力、そして地域の皆様方の御理解のもとに実施できましたことを厚く御礼

申し上げます。

御存知のように東中学校建設には、約九億八千万円をかけて今年度中に完成し、近隣にない立派な校舎として将来にわたり東野の生徒達が学びやとするわけであり

ます。何分今後ともご指導ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



やまなみあおく 特別寄稿 明日の林業を考える

愛媛県久万林業視察報告

私達東野生産森林組合役員は、先進地視察研修の目的で去る二月林業の研修に、愛媛県上浮穴郡久万町へ参りました。場所は四国山脈の高知県境で標高八百mの高原地帯に森林の総面積七千八百ha、組合員千三百名、出資金八千三百万円という久万林業を視察しまし

た。年間事業量十二億円と申しますから、林業一本かと思いましたが、農業も盛んで高原油菜の生産も大きく林業の実績を上まわっています。年間林業視察に訪れる人数は四千名を越すとか、さすが日本林業の先進地と認めざるを得ませんでした。

この久万林業が今日在るのは、東野生産の姿と同じように、先人先輩の涙ぐましい努力と、精進の結果であることを確認致しました。さて、この林業の概要を申し上げますと、七十%が杉で残りは桧を植樹してあり、百%人工造林です。百年前に植えた大木から、新植の苗まで通直な杉が天に向ってスクスク伸びています。この林業と私達の林業とを比較検討し導入可能な技術・知識を汲みとり今後に活用したいと思い、視察して参りました。

(1) 種 苗

久万の銘柄は杉の優良材と磨丸太の生産が特色で、真直に伸びる

品種の選定が一番重要な課題であり、ha当り五千五百〜六千本と密植し、品種毎理想通りに成長するかを観察して、優良品種の選定をしており、現在では挿木により改良種の造林がなされ、例えば植樹して二十年程の杉林に挿木による新造林が重複しており、それというのには前に植えた種類は、元曲りの癖があるので今年全部伐採し、挿木による優良品種の林にするというのです。土地に適合した品種を選ぶということは、今まで東野では余りなされていなかったように思い、参考にしたいものです。

(2) 育 林

久万町森林組合は、町村合併前に各戸六haの山林を分け各々に管理していたのが、撫育手入れに熱心な人と、比較的関心の少ない人とは、その差が大きくなりだしたので、千三百戸の持山を適期に撫育できるよう組合組織の中で指導する態勢を整え大きな成果を挙げ、間伐は二十年生までに二・三回行い密植林から次第に適林へと変りつつある。

(3) 枝 打

久万では特に枝打ちに重点を置いており、無節の柱材で通直な木は磨丸太にする目的で、六・七年生から枝打ちを始め直径七、五cmまでの小径木を枝打ちし良材生産に努め、早く枝打ちしたもの、遅れたもの或は枝打ちしないものとは、価格が八倍の差になるという。

更にこの組合では、素材販売のみでなく、製品加工販売をするので立派な設備をもった製材所を持ち、育林の成果を十分発揮し良材に付加価値を増して収益を挙げている。

(4) 間 伐

間伐材は磨丸太として加工し高価で取引されるので、山林所有者

の意欲が高く、間伐促進の礎となり枝打ち間伐の行き届いた美林が立ち並んでいる。

東野で一番遅れているのが、枝打ちと間伐であり二年前から毎年十haの間伐を目標に作業を進めており、昭和六十年から恵那市も森林総合整備計画により助成金も大幅によくなり、積極的に作業を行っている。

(5) 伐 採

伐採については、一定の年度で柱材中心に伐採し択伐方式で大径木育成に林地配分を考え、林地保全を考慮しつつ複層林施業を行ってきた点は、進んだ経営者の考えが伺え、明治の初年に植えた杉の大木は、百年生木として一本百万円以上で売れると意気込んでいた。杉の価値は大木になるほどよく、東野でも保古尻の杉は百年近いものがあり、遅れている除間伐も今年には是非実施して、一本百万円の大木を育てたいと思います。

(6) 複 層 林

複層林については、下に植えた木が柱頃に成長した段階で成木を伐る。このとき下木の損傷は、伐採で一割、搬出で二割程度の損傷はあるが作業終了後補植をすれば

問題ないようで、現在では架線により別の方法等も考慮しているという。久万高原に至る途中は剣しい山又山で、杉も松も極めて少なく、東野の山のように完全植林をした場所は見当らない。

しかも八十年九十年の松林を有する東野では、先輩方の残された美林を無くすることなく、拓伐式で大径木を育てつつ収益を挙げようと、二年前から施行し、所有面積の一割三十三・五haを大径木として、林地保全を考慮し出来る限り複層林施行を実施したい。

(7) 銘 柄 材

久万林業では、杉の優良磨丸太の加工により全国に販売網を持ち、特に東京市場と契約を結び、今では需要に応じ切れない現状であり、製材加工も並材と優良材は、製材の時点で区分して製品作りに当り、生産・消費両者に満足を得る方法を構じていた。

一方磨丸太の製品には、女性が一本一本を丁寧に磨き産地の名に恥ない製品に仕立てており、このような活力ある組合の姿を見て如何に銘柄を持つことが大切であるかを痛感しました。

恵那地区でも今度、東濃ひのき

主産地域に県で指定され、行政機関指導のもとに銘柄東濃ひのきの名を全国に知らせる秋が来ました。

現在素材処分は二ヶ所の共販所で約四万m³が競売されており、その他優良材は名古屋方面にも流れ、東濃ひのきの素材は大半が県外の業者の手に購われています。銘柄東濃ひのきの産地として、今一歩進み製品加工による付加価値を高めるような林業経営を希望します。林業経営は息の長い仕事であって、単に現在の収支のみで一喜一憂して迷うことなく、長期展望に立って、この苦境を乗り切り二十一世紀に明るい希望を託したいものです。

組合員の皆さん、古くからの言葉に「山づくりに倒産なし」とか申します。私達の仕事は自然環境を護りながら、生きとし生けるものの総てが共存する大事業をしているのだ、という誇りと自信をもって、精進したいものです。

一層のご指導とご協力をお願いし、林業先進地の視察報告と致します。

昭和六十一年三月一日

東野生産森林組合長

古山 猛 省

◇ 第 28 期 ◇

東野公民館教養講座生募集

***** ゆとりある日常生活を *****

生涯学習のひとつとして第 28 期の公民館講座生を下記により募集しますので、ご参加下さい。

◆ 募 集 要 項 ◆

1. 開設の期間 ----- 昭和 61 年 5 月～昭和 61 年 9 月 (月 2 回)
2. 開設の場所 ----- 東 野 公 民 館
3. 開設の時間 ----- 午後 7 時 30 分～ 9 時 30 分
4. 申込の期日 ----- 4 月 25 日 (金) より東野公民館へ (申込書有り)
5. 受 講 料 ----- 1 講座 1,700 円 (10 回分)
6. そ の 他 ----- イ. 資料、材料等は別途…
ロ. 受講者が少ないときは中止
ハ. 他町の方も可です。

講座名	講 師	目 標	持 参 品	開 催 予 定 日
編 物	坪井弥栄子	子供からお年寄りまで利用できる手編を	かぎ針・棒針・筆記用具	第 2・第 4 金曜日
民 踊	小森 さつ	たのしい民踊をおぼえ明るい家庭と健康作りに	手ぬぐい等	第 2・第 4 月曜日
大 正 琴	山本まつの	日常のメロデーを誰でも弾けるよう初歩から習得	大正琴・譜面台等	第 2・第 4 火曜日
俳 句	鈴木抱風子	俳句を通し生活にうるおいを	筆記用具	その都度
茶 道	篠原 はる	初めて習う方のため、基本的小前と作法	申込者に連絡します	第 1・第 3 木曜日
料 理	土方紀代子	食生活の原点を求める	フキン	第 1・第 3 金曜日

(編)(集)(雑)(記)

「ふるさと」をもつ、まして一生をその地で生活できるということとは、現代では最高の倖せであるといえます。東北地方のように一ケ年の半年以上を都会で父親が働き、仕送りを続け、冷たい簡易宿泊所で雪国の故郷を、又家族を想って胸を熱くする人達もあることでしょう。

その点私達は地方といいながら中京圏を近くに控えており、まだ恵まれた「地方」であるといえます。そんな土地に住む私達は「ふるさと」をみなおし、地域を大切に思う意識をより深めてゆかなければと思います。

先日、東野の公務員 O B 会の方々による労力奉仕により、明知線、東野駅前や戦没者慰霊塔の近く、元、万場のつつみ跡などに桜の苗木百本を植樹していただきました。十年も経てば美しい桜の四月となることでしょう。息の長い社会づくり地域づくりをしてゆきたいものです。

(館長 記)